

木下 修一 氏

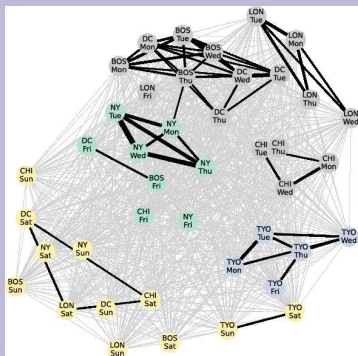
(武蔵野大学 工学部 数理工学科)



6つの都市におけるバイクシェアリング利用の統計的特徴 : JSDネットワークと駐輪場ランク分布の比較

近年、都市部の移動手段としてバイクシェアリングシステム（BSS）が急速に普及し、利便性、健康、環境負荷軽減の面で利用者が増加している。本研究では、ニューヨーク、ロンドン、東京、ボストン、シカゴ、ワシントンD.C.の6都市を対象に、BSS利用状況の特徴づけを行った。平日と週末の利用傾向をJensen-Shannon divergence（JSD）に基づき利用頻度分布の類似性をネットワークで可視化した結果、通勤ピークが際立つ平日とレジャー利用が増す週末の違いが顕在化し、金曜日は両者が混在する移行的特性を示した。一方、駐輪場のランク分布では平日と週末の順位がほぼ変わらず、JSDネットワークの差異が際立つ結果となった。これは、利用行動が主要拠点に集約される特性を示すと同時に、両データが異なる視点から都市構造と利用者行動の相互作用を捉えていると解釈できる。

本講演では、講演者が昨年1年間サバティカル期間を頂いたため、その報告も併せて行いたい。



↓参加登録はこちら↓



4月25日 (金) 17:00-18:20

武蔵野大学有明キャンパス, 4号館412教室, ハイブリッド開催

参加ご希望の方は、右上のQRコードより参加登録をお願いいたします。

参加費無料 **登録締切: 4/24 (木)**

国際展示場駅 徒歩7分
東京ビッグサイト駅 徒歩6分



コーディネーター: 時弘 哲治 (武蔵野大学工学部数理工学科 教授)

問い合わせ先: 武蔵野大学数理工学センター

https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/世界の幸せをカタチにする。
Leading People to a better world